

ほけんだより～保存版～

社福)仲晃会保健衛生チーム

発熱時の対応について

- ◆ 保育中に37.5度以上の発熱や体調の変化が見られた際には、状況報告の連絡をさせていただきます。更なる体調の悪化に備え、すぐに対応出来る体制づくりをお願いします。
- ◆ **保育中に38.0度以上の発熱が確認された時には、ご連絡しますので速やかにお子さんをお迎えいただきますようお願いいたします。(目安は1時間以内)**
- ◆ 体温が38.0度未満であっても、呼吸器症状や消化器症状等、症状の悪化が見られた場合はお迎えをお願いする場合があります。
- ◆ 保護者の方がすぐに対応が出来ない場合は、祖父母等の協力を確立し、代わりの方のお迎えをお願いします。
- ◆ 保護者の方に連絡がつかない場合は、緊急連絡先の順番に連絡させていただきますので、**必ず連絡の取れる番号を申請してください。**また、保護者の方がお休みの場合は必ずお知らせください。
- ◆ **解熱後はお子様の体調(食欲・排便・咳等)をよく観察し、1日様子を見てから登園するようご協力お願いします。**治りかけの状態ですと他の園児に感染させてしまう可能性も高く、なにより悪化させてしまい長引かせてしまうケースがあります。
- ◆ 感染症、体調不良後の登園の際には、休み中の状況を必ずお知らせください。

アレルギーの対応について

アレルギー(食べ物、花粉症、薬剤など)をお持ちの園児で、園での生活の中で医師の指示による生活管理が必要な場合は、「アレルギー生活管理指導票」の提出が必要になりますので職員にお声掛けください。(花粉症用メガネの着用も対象となります)

当園では、さまざまな種類のアレルギーをお持ちのお子さんが生活しています。安全安心な園生活を送るために、以下の点にご協力ください。

- ◆ 園内に食べ物を持ち込まない(登園時口の中に残っている事もあるため注意してください)
- ◆ 衣服や顔、体、髪の毛に食べこぼし、またはペット(動物)の毛が付着している場合は着替えたり洗ってから登園してください。



くすりについて

- ◆ **園での投薬は原則禁止**となっておりますが、やむを得ない場合のみ、①医師の指示書、②保護者の申請書にもとづいて投薬を行っております。
- ◆ **必要書類がそろっていない場合は投薬できません。**
- ◆ 園に薬をもたせる際は誤飲等の危険性を防ぐため、写真のように薬一つ一つに**薬の名前**、**クラス名**、**園児名**を記入し、1回分をビニール袋(日付、クラス名、園児名を記入)に入れて、朝受け入れた職員に**直接手渡し**でお渡しください。シロップ薬についても同様です。
- ◆ 気管支拡張テープを貼って登園する際は、気管支拡張テープ本体に**記名**し、はがれやすいのでフィルムやテープ等で補強をお願いします。
- ◆ 虫よけパッチ、虫刺されパッチは誤飲防止のため、貼ったままの登園はご遠慮ください。



おねがい

- ◆ 予防接種後は一時的な発熱や発疹がでることがありますので、休日、または降園後に予防接種を受けていただけるようにご協力をお願いします。予防接種をした場合は、後日園に報告してください。
- ◆ 病院受診等による保育の中抜けは、生活リズムが崩れてしまうためご遠慮ください。
- ◆ 発疹などが体に出た場合、発疹によっては時間経過とともに消失してしまうものもあります。そのため、医師にスムーズで的確な診断をしてもらえるように、場合によっては発疹の様子を撮影し、保護者の方にお渡しすることがありますのでご了承ください。
- ◆ 給食提供後の登園については食品衛生上、給食を保管して登園後に提供することはできません。(3歳未満児は11:30、3歳以上児は12:00以降は昼食を食べてから登園してください)
- ◆ 流行性疾患を把握するため「ほいくのれんらく」のメッセージ欄には具体的な症状または疾患名を入力してください。(例:発熱 37.7℃、咳、鼻水、腹痛、嘔吐、下痢など)